

番号	18	県別	山口	事業場所	山口市・防府市・宇部市
実施団体等	空みずきの会			代表者	坂本 京子
事業名	「災害から10年～地域の災害を伝承することの大切さ～」				
事業目的	<p>「地域の災害を伝承することの大切さ」をテーマに、気象予報士の知識や活動経験を活かした気象防災講座を開催することで、被災した出来事を地域住民や子供たちに伝承し、今後の災害に備える知識と意識を高めてもらう。また、子供たちに座学だけでなく、気象実験や天気に興味を持ってもらう。</p>				
事業概要	<p>①「防府市民防災の日」は大雨洪水警報発令により講演会、各種イベントは中止となったが、発令を知らず来場した100人に災害写真のパネル展示、動画テレビ上映、気象実験、手作り防災グッズ等により防災や気象を説明。</p> <p>②花崗岩がまさ土になる過程、構成する石英、長石探し、ルーペ覗きなど地質の専門家から体験を交えた説明。</p>				
事業効果	<p>①岩石仕分け、雲や雨の実験等、メモをとりながら熱心に体験された。</p> <p>②防府市民の方々は地域の災害について関心が高いことが分かった。</p> <p>③一部中止となった行事もあるため、改めて開催して欲しいという声が多く寄せられた。</p>				
活動状況					